

森林ボランティア初心者研修会を開催

令和2年9月19日(土) 熊本市立田山

研修では、菊池森林組合の宮崎先生から森の働きや下刈りの必要性や方法について学び、下刈り鎌を使った下刈りを体験しました。

午後は、立田山を満喫しながら、森林ボランティア活動アドバイザーの幸山が森の楽しみ方を指導しながら、森林総合研究所九州支所の「森の展示館」へ移動し、館員の方から展示館の説明を受けたほか館内の展示を楽しみました。「森の展示館」には、キノコを始めとして、立田山の動物や植物の展示がなされ参加者は興味深く見学していました。

第2回初心者研修会は、11月21日(土)に間伐の研修として大津町で開催する予定です。近日中に案内いたします。

第1回初心者研修の詳細は、[熊本県森づくりネットホームページ](#)から。



熊本日日新聞 2020年9月25日朝刊

森林整備 技術学ぶ

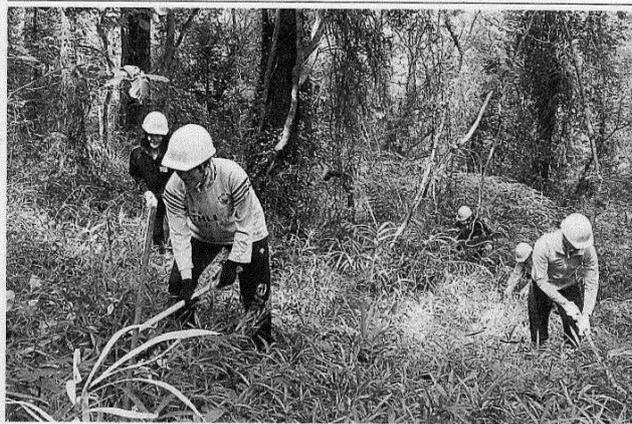
県林業研究センター 下草刈り体験

森林ボランティアの初心者らが、森林整備の重要性や技術などを学ぶ研修会が19日、熊本県中央区の県林業研究センターで開かれ、約20人の参加者が、17〜74歳の11人が下草刈りや森林浴などを体験した。

県緑化推進委員会が県の委託で毎年実施。参加者は菊池森林組合の職員から、森林の役割や下草刈りの効果などについて説明を受け、立田山の実験林に植えられたタイガシなどの苗木に日光が当たるよう、刈り取った下草を処分した。同委員会の川上信久常務理事(65)は「立田山を知ってもらい、森林を好きになってもらうきっかけになれば」と話した。

同研修会は毎年2回開いており、11月には間伐体験をする予定。

(川野千尋)



鎌を使って雑草を刈り取る参加者ら
19日、熊本市北区